

東海道～山陽新幹線N700Aのバリアフリー設備のご案内  
(2022年3月12日現在、2022年8月9日更新)  
©作成・半沢一宣(はんざわ・かずのり)

N700AはN700系の走行性能を改良した形式で、車内設備は基本的に同じですが、公衆電話が2台に削減されていたり乗務員と対話できるインターホン機能付の緊急通報装置がデッキに設置されていたりするなどの細かい違いがあります。  
N700AとN700系は共通運用されており、どの列車がどちらの車両で運転されるかは決まっています。

#### 車いす対応座席(次ページの配置図で「H」と表記)

11号車の12番AB席(太平洋・瀬戸内海側)が車いすからの乗り移りに便利なよう肘掛けを跳ね上げることができる構造になっていて、車いす固定用の設備もあります。このうち13番AB席は2022年3月12日以降、1ヶ月前の発売開始時から指定席券売機などで購入できるようになったため、健常者が先に購入してしまうと車いすの人やその同伴者が利用できない問題が発生しています。

12番AB席は引き続き一般席とは別枠で管理され、健常者が購入できない措置が取られています。

#### 多目的室(次ページの配置図で「M」と表記)

改良型ハンドル式電動車いすに対応した構造のものが、11号車の東京寄り(富士山・玄界灘側)にあります。

座席の枕を取り外し座面と背もたれを手前に引き出すと簡易ベッドになります。

ただしJRでは多目的室を車いすの人優先とする運用をしているため、車いす対応座席の利用が可能な手動の車いすを使用する人が多目的室の利用を希望した場合、急病人や病弱者が多目的室を利用できないという問題が発生する可能性があります。

#### 車いす対応トイレ(次ページの配置図で「O」と表記)

11号車の東京寄りに、ベビーベッド(おむつ交換台)、ベビーチェア、オストメイト用設備などを併設した多機能トイレがあります。

またすべてのトイレには火災報知器が設置されており、トイレ内でライターを使ったり喫煙したりすると警報音が鳴るようになっています。

#### 洗面所

11号車の東京寄り(多機能トイレの向かい)に車いす対応構造のものがありません。

#### 公衆電話

12号車の博多寄りに車いす対応構造のものがありませんでしたが、2021年6月30日限りでサービスを終了しました。

#### 飲料自動販売機

2014年3月14日限りで飲料自動販売機の営業を終了しました。

それ以前は11号車の博多寄りに車いす対応でない構造のものが設置されていました。

#### 受動喫煙の発生状況

N700Aでは全席禁煙ですが、3・10・15号車の3ヶ所に喫煙ルームがあり、人が出入りする際にたばこ煙が通路へ漏れ出すことによる受動喫煙が発生していることが、営業列車での粉じん濃度測定調査によって判明しています。

また喫煙ルームが存在することにより、喫煙を終えて自席へ戻ったばかりの人が肺の中に残っているたばこ煙を呼吸と共に吐き出すことになるため、これに起因する受動喫煙が、すべての席で発生する可能性があります。

### 乗車・調査の実施記録

丸数字は4ページ以降に掲載した写真を撮影した列車を示します。

2014年5月11日(日曜日)

品川6時00分発「のぞみ99号」

(品川 広島間で9号車(グリーン車)に乗車)

車両番号: 11号車 = 786 - 1701

(JR東海G1編成、2012年・日本車両製)

2019年6月8日(土曜日)

東京17時03分発広島行き「ひかり481号」

(全区間を9号車(グリーン車)1番D席に乗車)

車両番号: 11号車 = 786 - 1724

(JR東海G24編成、2015年・日立製)

2021年5月24日(月曜日)

東京6時00分発博多行き「のぞみ1号」

(東京駅発車前に調査)

車両番号: 11号車 = 786 - 1705

(JR東海G5編成、2013年・日立製)

2021年6月1日(火曜日)

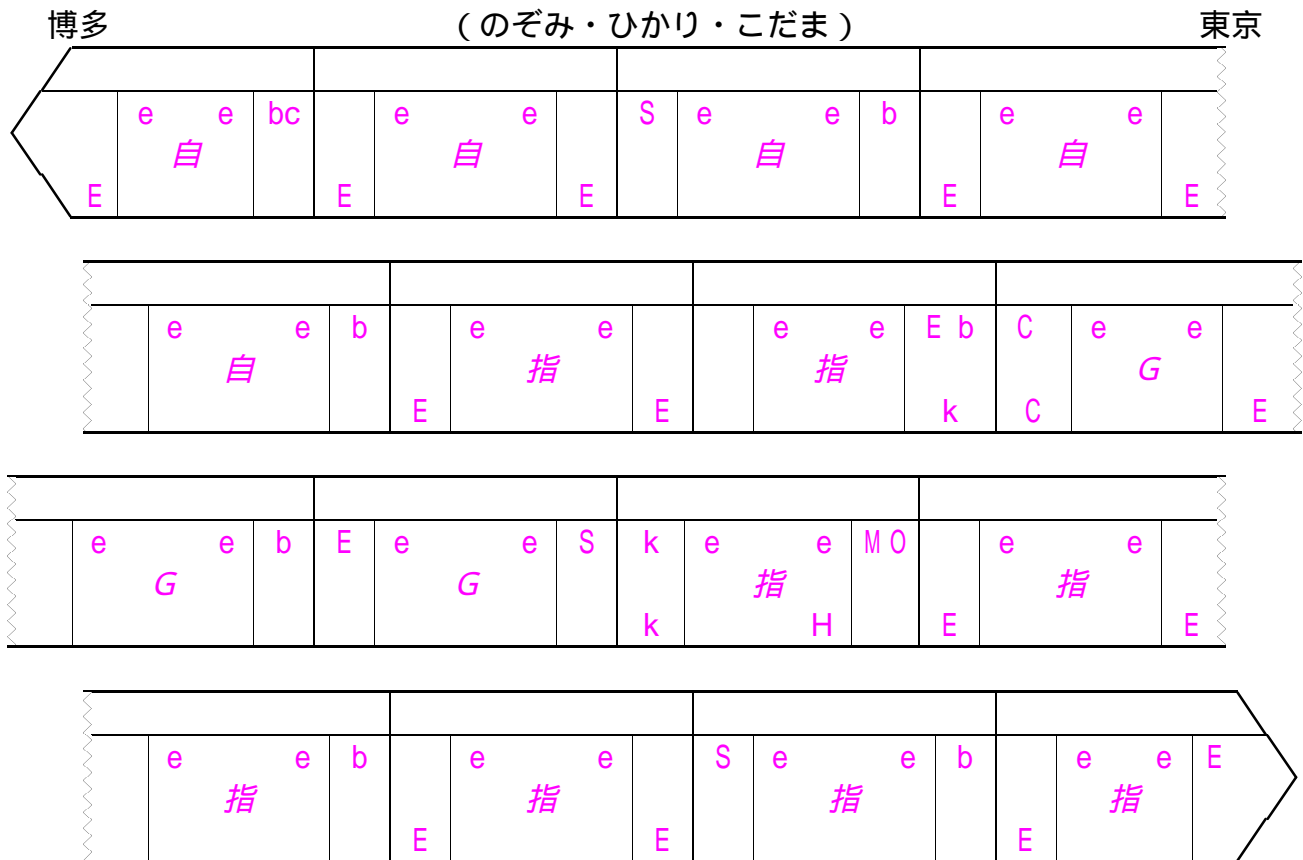
東京6時00分発博多行き「のぞみ1号」

(東京駅発車前に調査)

車両番号: 11号車 = 786 - 1738

(JR東海G38編成、2017年・日本車両製)

N700Aの車内設備の配置図  
 (指定席/自由席の区分は「ひかり」の場合を示しました)



凡例

- 指 = 普通車指定席      自 = 普通車自由席      G = グリーン車
- H = 車いす対応座席      M = 多目的室
- O = 車いす・オストメイト対応トイレ (ベビーベッド・ベビーチェア付)
- b = 車いす非対応トイレ (ベビーベッド付)
- c = 車いす非対応トイレ (ベビーチェア付)
- C = 車掌室      k = 車内販売準備室
- = A E D (自動体外式除細動器)      S = 喫煙ルーム
- e = 緊急停止ボタン (インターホン機能無し)
- E = インターホン機能付緊急通報装置
- 業 = 業務用特大荷物置場 (乗客が自由には利用できない区画)
- 斜字 = 受動喫煙が発生する可能性がある禁煙車



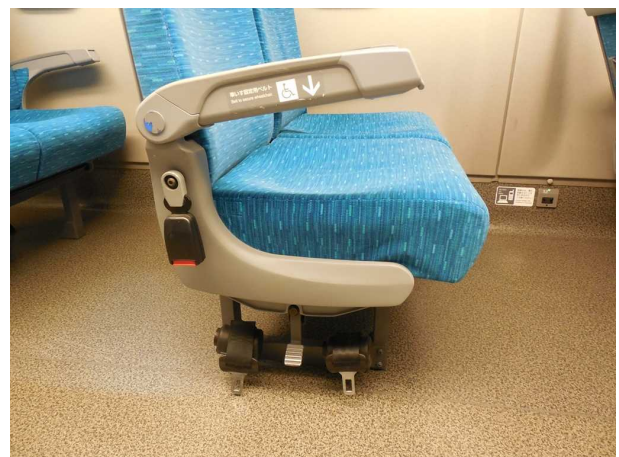
東海道～山陽新幹線N700A



N700Aの車体側面のロゴ



N700Aの11号車の車いす対応座席



N700Aの車いす対応座席の  
車いす固定用ベルト



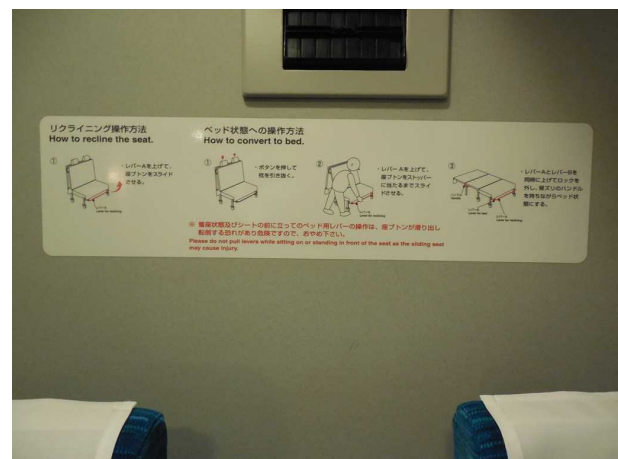
N700Aの11号車の多目的室



左の写真の多目的室の案内掲示  
車いすの人が乗車している場合は  
急病人の休憩や授乳に利用でき場所が  
無いことがわかる



上の写真の多目的室の内部



多目的室のベッドの操作方法



N700Aの11号車の  
バギー（車内専用車いす）格納庫  
（左奥の車いすマークの部分）



N700Aの11号車の車いす対応洗面所



N700Aの多機能トイレ



N700Aの多機能トイレの  
オストメイト対応設備



N700Aの4号車の  
車いす非対応公衆電話（現存せず）  
右の写真の12号車の公衆電話と比べると  
電話機設置台の高さが違う



N700Aの12号車の  
車いす対応公衆電話（現存せず）  
電話機の左に見える対話式緊急通報装置は  
車いすでも使用可能な低さに設置



N700Aの対話式緊急通報装置



N700A 11号車の  
飲料自動販売機撤去跡  
2020年に就役したN700Sでは  
この場所が授乳室となった



N700A 8号車の車掌室内に  
AEDが備え付けてあることの案内掲示  
車掌が車内巡回中で施錠されていると  
すぐには使えない可能性がある



N700A 11号車の  
列車非常停止ボタン  
(左上の号車番号表示の下)  
画面右下が車いす対応座席



左の写真の非常停止ボタン部分  
N700Aのみボタンの下に  
「乗務員との通話ができる緊急通報装置は  
デッキに設置してあります」との案内が  
追加されている